

令和2年度中堅社協職員研修委員会 研修事業

「コロナ禍における社協活動の方向性」

趣旨

新型コロナウイルス感染症に起因する外出自粛や新しい生活様式の実践等に伴い、生活は一変し、人と人とが関わり・触れ合うということが出来ない状況により、生活課題の深刻化や潜在化していた課題が表面化している一方、これまで通りの地域福祉活動ができない状況が続いています。

しかし、この状況はこれから訪れるであろう将来の地域の姿をみている状況であり、新たな地域福祉活動を考え、推進できるチャンスと捉えることもできます。

このような中、地域福祉の推進をミッションとする我々社協職員はこれまでとは違う状況で何を考え実践につなげるのかを考える機会として本研修を実施します。

主 催 中堅社協職員研修委員会（福岡県地域福祉活動職員連絡会）

日 時 令和2年12月6日（日）13：00～17：15（受付12：30～）

会 場 筑後市総合福祉センター（筑後市野町680-1）

対 象 社協職員（定員25名）※参加費無料

※申し込み多数の場合は人数調整を行う場合があります。あらかじめご了承ください。

内 容

①報告「市町村社協への調査を通じて見えてきた現状と課題」

報告者：福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課

②講演「コロナ禍における社協活動の方向性」

講 師：九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 さん

③分散協議（3テーマ）

※裏面に記載の協議テーマより希望されるテーマをお選びください。

④協議内容の共有・まとめ

講 師：九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 さん

申込方法 別紙参加申込書に必要事項を記入いただき、令和2年11月20日（金）までに下記の申込先あてFAXにてお申し込みください。

申込・問合せ先 うきは市社会福祉協議会 中川

（電話：0943-76-3977 F A X：0943-76-4329）

その他 駐車場あり（※主催者による駐車場の確保はできません。）

タイムスケジュール

13:00	13:10	13:30	14:30	14:40	16:00	16:10	17:15
開会	①報告	②講演	休憩・移動	③分散協議	休憩・移動	④報告・まとめ	閉会

分散協議テーマ

※参加される皆さん自身が感じる課題や「こうしたい。」という考えをもとに参加者同士で協議し、内容を深めていく時間とするため、事例報告等はありません。

テーマ①「ユニバーサル就労」

特例貸付の申請のために、社協には相談者が殺到しています。貸付も支援の一つではありますが、借財を増やすという側面もあります。そこで、「仕事」の提供ができれば、また違った支援の形が見いだせるかもしれません。

この考え方を切り口とし、新たな働き方をどう創造するかを考えます。そのことは、アフターコロナを見据えた、生活困窮者支援や8050支援、そして、就労継続支援や就労準備支援にも馴染まない方への支援にもなっていくはずです。「様々な理由により働きたくても働くことができない状態にある全ての人が自ら選択した仕事に従事すること」として、「ユニバーサル就労」という言葉があります。その可能性を探ります。

テーマ②「コロナ禍における企業との連携」

食材やマスク等の寄付・提供など、新型コロナウイルスがきっかけで企業とつながることができた社協も多くあるかと思います。これまで、企業との連携を模索してきた社協としては、現状のチャンスだととらえることもできるかもしれません。また、SDGsも相まって、日ごろから相互に協力できる関係を構築しやすい時代でもあります。

コロナ禍のような緊急時における企業連携を切り口に、平常時の連携のあり方について模索していきます。

テーマ③「特例貸付後の支援」

経済的困窮への支援としての特例貸付は当初の予定から延長となり、最大で140万円の生活費を借りることができる制度です。しかし新型コロナウイルスの感染拡大については、今後の先行きがまだ見えない状況ですし、経済状況の悪化に伴い生活困窮者が急増しています。しかし、相談者の拝啓には、8050や障がい、1人親世帯や非正規雇用の不安定な暮らしなどの課題がもともとあり、脆弱な家庭基盤の中で生活していた状況が見え隠れします。ここでは、貸付後の支援を検討するとともに、「貸さない支援」の可能性も模索します。